

ネットワーク利用を意識したアパレル情報に関する研究

—テクスチャーの再現と着装状態について—

○村上 かおり 森 恵子 園野 哲也（高知女大）

【目的】インターネットを中心にネットワークを利用した情報の提供が活発になり、オンラインショッピングも利用され始めている。そのためにはモニタ画面で提供される情報が正確に表示され、受信側に伝達されるかが重要な課題となる。そこで本研究では、ネットワーク上でのアパレル情報が正確に提供されるシステムを見いだすため、3法による画像を試作、評価検討を行った。

【方法】アパレル製品の画像を2次元ならびに3次元で表示した。2次元画像としてインターネット上のオンラインショッピング画面で多用されているデジタルカメラの静止画像を採用した。3次元画像としては、VRMLで記述した仮想着装画像と、人体モデリングアニメーションツールを用いた動画画像を作成した。それらの画像をもとに、ネットワークで表示するという視点から視覚評価を行い、画像表示方法について考察した。

【結果】テクスチャーの再現性では、アパレル製品の静止状態を取り込んだ2次元画像は、光沢感、厚薄感が表現されていた。3次元画像については、3次元スキャニングし取り込んだ画像が最もテクスチャーの再現性がよく、仮想着装画像にマッピングして表現した着装状態の画像でもテクスチャーが再現された。試料の3次元スキャニングにご協力いただいた平井愛子氏（神戸ファッション美術館）に感謝いたします。